



2026年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年7月14日

上場会社名 株式会社ありがとうサービス

上場取引所 東

コード番号 3177 URL <http://www.arigatou-s.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長 (氏名) 井本 雅之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 志岐 雄一

TEL 0898-23-2243

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第1四半期の連結業績(2025年3月1日～2025年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|-----|------|------|------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年2月期第1四半期 | 2,711 | 3.2 | 209 | 21.3 | 234 | 18.0 | 143 | 21.6 |
| 2025年2月期第1四半期 | 2,626 | 9.8 | 266 | 16.4 | 285 | 5.9 | 183 | 4.9 |

(注) 包括利益 2026年2月期第1四半期 132百万円 (39.2%) 2025年2月期第1四半期 218百万円 (15.1%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年2月期第1四半期 | 155.76 | |
| 2025年2月期第1四半期 | 198.80 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2026年2月期第1四半期 | 6,100 | 3,279 | 49.3 |
| 2025年2月期 | 6,223 | 3,271 | 48.3 |

(参考) 自己資本 2026年2月期第1四半期 3,008百万円 2025年2月期 3,007百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年2月期 | | | | 135.00 | 135.00 |
| 2026年2月期 | | | | | |
| 2026年2月期(予想) | | | | 135.00 | 135.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|-----|------|-----|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 10,700 | 0.8 | 880 | 0.0 | 954 | 0.0 | 504 | 0.0 | 545.97 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)P.6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|-----------|------------|-----------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2026年2月期1Q | 953,600 株 | 2025年2月期 | 953,600 株 |
| 期末自己株式数 | 2026年2月期1Q | 30,468 株 | 2025年2月期 | 30,468 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2026年2月期1Q | 923,132 株 | 2025年2月期1Q | 923,132 株 |

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当四半期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当四半期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 4 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 4 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (会計方針の変更に関する注記) | 6 |
| (セグメント情報等の注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 7 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2025年3月1日~2025年5月31日)における我が国経済は、インバウンド需要の増加や個人消費の回復、企業の堅調な設備投資等の流れのなかで景気は緩やかな回復基調で推移しました。

一方で、米国のいわゆるトランプ関税政策等の影響を受けて世界各国の経済が減速するなど、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような環境の中、当社グループは、リユース事業では、給与水準の引き上げと九州地方における新規出店準備のための先行投資を行いました。また、フードサービス事業では、経営資源を投入する業態の絞り込みを行いました。

新規出店は、リユース事業で5月に1店舗(カンボジア王国プノンペン)を新規出店しました。

この結果、当社グループの店舗数はリユース事業109店舗、フードサービス事業25店舗、地方創生事業10施設、合計144店舗となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,711,420千円(対前年同四半期比3.2%増)、営業利益209,435千円(同21.3%減)、経常利益234,386千円(同18.0%減)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は143,789千円(同21.6%減)となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと次のとおりであります。

(リユース事業)

ハードオフ事業・ブックオフ事業では、ハードオフ本部・ブックオフ本部の経営理念を現場で行動に移し、店舗運営のスタンダードを実現できる人材育成に取り組み、九州地方における新規出店の準備を行いました。海外事業ではカンボジア王国プノンペンにおいて店舗移転及び新規出店に取り組みました。

この結果、売上高2,039,342千円(対前年同四半期比4.2%増)、セグメント利益(営業利益)332,102千円(同10.6%減)となりました。

(フードサービス事業)

モスバーガー事業では、厨房機器の更新を行いお客様のニーズに対応できるお店づくりに取り組みました。

トマト&オニオン、とり壺などの業態も堅調に推移しています。

この結果、売上高581,176千円(対前年同四半期比0.9%減)、セグメント利益(営業利益)40,664千円(同7.0%増)となりました。

(地方創生事業)

原材料費・光熱費をはじめとした各種コストの上昇により、引き続き厳しい事業環境下に置かれています。また、事業業態の現状分析を行い将来の成長が見込める分野に対し、先行投資を行いました。

この結果、売上高90,901千円(対前年同四半期比10.0%増)、セグメント損失(営業損失)52,655千円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)41,196千円)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて184,069千円減少し、3,059,942千円となりました。現金及び預金が283,654千円減少し、商品が87,702千円増加したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて60,942千円増加し、3,040,831千円となりました。有形固定資産が41,693千円、投資その他の資産が20,173千円それぞれ増加したことが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて123,126千円減少し、6,100,774千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて238,031千円減少し、991,095千円となりました。1年内返済予定の長期借入金が267,384千円、未払法人税等が43,635千円それぞれ減少したことが主な要因です。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて107,035千円増加し、1,830,002千円となりました。長期借入金が118,990千円増加したことが主な要因です。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて130,996千円減少し、2,821,097千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて7,869千円増加し、3,279,676千円となりました。利益剰余金が19,166千円増加したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月14日に公表しました「2025年2月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の数値に変更はありません。また、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2025年2月28日) | 当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,734,160 | 1,450,506 |
| 売掛金 | 128,706 | 146,589 |
| 商品 | 1,186,439 | 1,274,141 |
| その他 | 196,487 | 190,513 |
| 貸倒引当金 | △1,783 | △1,808 |
| 流動資産合計 | 3,244,011 | 3,059,942 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,029,730 | 1,038,288 |
| その他(純額) | 671,734 | 704,870 |
| 有形固定資産合計 | 1,701,464 | 1,743,158 |
| 無形固定資産 | 24,344 | 23,421 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 495,634 | 517,984 |
| その他 | 768,681 | 766,685 |
| 貸倒引当金 | △10,237 | △10,417 |
| 投資その他の資産合計 | 1,254,079 | 1,274,252 |
| 固定資産合計 | 2,979,888 | 3,040,831 |
| 資産合計 | 6,223,900 | 6,100,774 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 61,386 | 75,810 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 567,421 | 300,037 |
| 未払法人税等 | 132,207 | 88,572 |
| その他 | 468,111 | 526,675 |
| 流動負債合計 | 1,229,127 | 991,095 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 914,456 | 1,033,446 |
| 退職給付に係る負債 | 35,373 | 36,020 |
| 役員退職慰労引当金 | 106,437 | 108,531 |
| 資産除去債務 | 465,831 | 468,171 |
| 関係会社事業損失引当金 | 2,700 | 1,500 |
| その他 | 198,167 | 182,333 |
| 固定負債合計 | 1,722,966 | 1,830,002 |
| 負債合計 | 2,952,093 | 2,821,097 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 547,507 | 547,507 |
| 資本剰余金 | 63,507 | 63,507 |
| 利益剰余金 | 2,371,982 | 2,391,149 |
| 自己株式 | △70,666 | △70,666 |
| 株主資本合計 | 2,912,330 | 2,931,497 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 31,009 | 31,956 |
| 為替換算調整勘定 | 64,033 | 45,145 |
| その他の包括利益累計額合計 | 95,043 | 77,101 |
| 非支配株主持分 | 264,432 | 271,076 |
| 純資産合計 | 3,271,806 | 3,279,676 |
| 負債純資産合計 | 6,223,900 | 6,100,774 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 2,626,193 | 2,711,420 |
| 売上原価 | 891,976 | 914,332 |
| 売上総利益 | 1,734,216 | 1,797,087 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,468,008 | 1,587,652 |
| 営業利益 | 266,208 | 209,435 |
| 営業外収益 | | |
| 不動産賃貸料 | 12,804 | 14,454 |
| 受取負担金 | 4,292 | 9,147 |
| 補助金収入 | 4,993 | 6,289 |
| 受取手数料 | 3,686 | 3,350 |
| その他 | 10,068 | 8,266 |
| 営業外収益合計 | 35,844 | 41,507 |
| 営業外費用 | | |
| 不動産賃貸原価 | 13,322 | 13,539 |
| その他 | 2,887 | 3,016 |
| 営業外費用合計 | 16,209 | 16,556 |
| 経常利益 | 285,843 | 234,386 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 285,843 | 234,386 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 70,401 | 57,928 |
| 法人税等調整額 | 9,231 | 11,965 |
| 法人税等合計 | 79,633 | 69,893 |
| 四半期純利益 | 206,210 | 164,492 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 22,692 | 20,703 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 183,517 | 143,789 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 206,210 | 164,492 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,293 | 946 |
| 為替換算調整勘定 | 9,588 | △32,946 |
| その他の包括利益合計 | 11,881 | △32,000 |
| 四半期包括利益 | 218,092 | 132,492 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 194,220 | 125,847 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 23,872 | 6,644 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|--------------------|------------|---------------|---------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | リユース 事業 | フードサービス 事業 | 地方創生事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,956,885 | 586,699 | 82,609 | 2,626,193 | - | 2,626,193 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 1,956,885 | 586,699 | 82,609 | 2,626,193 | - | 2,626,193 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 371,536 | 38,004 | △41,196 | 368,344 | △102,136 | 266,208 |

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|------------|---------------|---------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | リユース 事業 | フードサービス 事業 | 地方創生事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,039,342 | 581,176 | 90,901 | 2,711,420 | - | 2,711,420 |
| セグメント間の内部売 上高又は振替高 | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 2,039,342 | 581,176 | 90,901 | 2,711,420 | - | 2,711,420 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 332,102 | 40,664 | △52,655 | 320,111 | △110,677 | 209,435 |

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 54,156千円 | 58,101千円 |